

地域医療への熱い思い。その未来への歩みを応援します。

[いわて] 医学生奨学金の活用を!

医への志に燃える若人たちよ

迷うことなく

前へ進もう

医は手

から始まる

未来への道

堂々と歩む

きみにエールを!



3種類の奨学金で

計55名を募集します!

岩手県

一定期間の県内公的病院勤務により、返還が免除されます。

岩手の医療に あなたの力を！

「いわて」医学生奨学金は、
「医師になりたい」という夢の実現を応援します。

病気やケガをしたときに、必要で十分な治療が受けられること。これは、私達が生活するうえで、とても大切な、とても基本的なことの一つです。そして当たり前のことですが、医師をはじめとして医療に携わる様々な専門家が地域にいて、初めて可能となります。

このため、県や市町村では、大学で医学を学ぶ皆さんの負担を軽減し、一人でも多くの方に医師になって岩手で活躍してもらうため、昭和 25 年から奨学生を募集してきました。これは、国内でも有数の歴史を持つもので、これまで約 1,200 名の方々がこの奨学金を利用し、医師になって地域医療を支えてきました。

現在、貸付を行っている 3 つの奨学金は、募集時期や貸付額などの細かい違いはありますが、いずれも医師になった後、県内の公的病院（県や市町村の医療機関）などに一定期間勤務していただくことで、奨学金の返還が免除となるものです。

県では、これらの奨学金のほか、医師になった後のキャリアアップや育児休業等に応じた様々な支援を行っています。

ぜひ、医師となる夢を実現し、岩手の地で未来への一步を踏み出してみませんか？

INTERVIEW & MESSAGE

奨学金を利用した先輩たちからのメッセージ

「経験を積み、地元のために働きたい」

佐々木健太（ささき けんた）さん 大船渡市出身 新潟大学医学部卒

●県立大船渡病院勤務「医療局医師奨学金」

大学入学時は、海外留学を経て、都会で働きたいと思っていましたが、1 年生の 3 月に起こった東日本大震災がきっかけで地元に戻りたいと考えるようになりました。実家は自営業で、決して裕福とは言えず、奨学金に助けられました。ここは知り合いが多く、戻ってきたことを喜んでくれる患者さんもいます。育った大船渡が好きなので、将来的には県外のさまざまな場所でも勉強し、その経験を持ち帰って、また大船渡病院で働きたいと思っています。



「精神的にもサポートできる医師を目指します」

荒屋禪（あらや しずか）さん 大槌町出身

●岩手医科大学医学部学生「岩手県地域枠奨学金」

中学 2 年の 3 月に東日本大震災を経験したことが、医師を目指すきっかけとなりました。被災後、救急医をはじめ、多くのお医者さまが県内外から大槌町に来てくださいました。衝撃の大きさに何も考えられなくなっていました。お医者さまがいるというだけで安心できました。その経験から、自分も岩手で学び、医療を通じて岩手の人たちを支えたいと、この道を選んだのです。将来は、病気を治すだけでなく、患者さんの精神的なサポートもできる医師になりたいと考えています。



「いわて」医学生奨学金のあらまし

奨学金名	岩手県医師 修学資金	医療局医師奨学資金					市町村医師 養成修学資金
区分	地域枠※				産婦人科 特別枠	一般枠	
	岩手医科大学 地域枠A	岩手医科大学 地域枠B	岩手医科大学 地域枠C	東北大学 地域枠			
定員	15名	8名	5名	2名	2名	8名	15名
出願者の出身地	岩手県出身者	東北出身者	制限なし	岩手県出身者	制限なし	制限なし	制限なし
入試方式	特別推薦入試	特別推薦入試	特別入試	特別入試	各大学の 入試方式による	各大学の 入試方式による	各大学の 入試方式による
貸与額	440万円/年	30万円/月	30万円/月	20万円/月	40万円/月 (私立のみ)	国立 20万円/月 私立 30万円/月	20万円/月
入学一時金	410万円	—	—	—	—	—	760万円(私立のみ)
6年間合計	3,050万円	2,160万円	2,160万円	1,440万円	2,880万円	国立1,440万円 私立2,160万円	国立 1,440万円 私立 2,200万円
返還免除に係る 義務履行期間	(県内での2年間の 臨床研修後) 9年間	(県内で2年間の臨床研修後)6年間 or 貸付期間					(県内で2年間の臨床研修後) 6年間 or 貸付期間
申込・ 問合せ先	岩手県保健福祉部 医療政策室 TEL:019-629-5427	岩手県医療局医師支援推進室 TEL:019-629-6352					岩手県国民健康 保険団体連合会 保健介護課 TEL:019-623-4324

※地域枠とは、医師の不足や偏在を解消することを目的に実施している大学医学部の入試制度と連動している奨学金制度です。地域枠奨学金の貸与を受けて医師となった者については、医療法の規定に基づき、義務履行の際に、岩手県が定める「キャリア形成プログラム」が適用されます。

「いわて」医学生奨学金等の特長

1 多様な奨学金で修学をサポート！

★大学や入試方法に対応した奨学金を3種類(7区分)用意していますので、出身地や貸与金額など、自分の条件に合った奨学金を選ぶことができます。

- 岩手医科大学地域枠A:国立大学並みの負担で修学できる貸与金額が魅力です。
- 医療局医師奨学資金(産婦人科特別枠):地域枠Aに次ぐ貸与金額で、産婦人科医を目指す学生を支援しています。
- 市町村医師養成修学資金:入学時の経済的負担が少なく済むよう入学一時金制度を設けています。



2 義務履行とキャリアアップの両立が可能！

- ★義務履行中であっても、専門医の資格や学位を取得するため、義務履行対象施設以外の大学や県外医療施設で、通算6年間まで研修(義務履行を猶予)することができます。
- ★医師不足が深刻な産婦人科もしくは小児科を専攻した場合には、義務履行の全期間を通じて、地域周産期母子医療センター(公的基幹病院)で勤務することができるほか、岩手医科大学地域枠Aについては、1年間を限度に総合周産期母子医療センター(岩手医科大学)での研修を義務履行として認定するなど、専門医としてのキャリア形成を支援しています。



3 仕事と育児の両立をしっかりサポート！

- ★主たる義務履行先となる岩手県立病院では、院内保育所や育児短時間勤務制度など、子育てをしながら勤務する女性医師をサポートする充実した支援制度が整っているため、仕事と育児を両立することが可能です。



キャリア形成を応援するいわての奨学金

〈義務履行例〉
市町村医師養成修学資金
医療局医師奨学資金

■義務履行中に学位(修士号)を取得する場合

①+②+③=6年間勤務、猶予期間を2年取得



臨床研修を含め、10年で義務履行終了！

臨床研修病院マッチング

医師免許取得

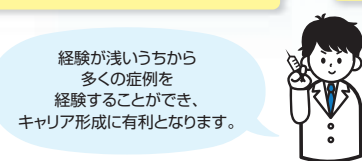
岩手県内研修病院での
初期臨床研修(2年間)

- ・キャリア形成の観点から多くの症例を経験できる基幹病院に配置
- ・中小病院勤務に対応するため、各基幹病院において、総合診療スキル習得研修を実施

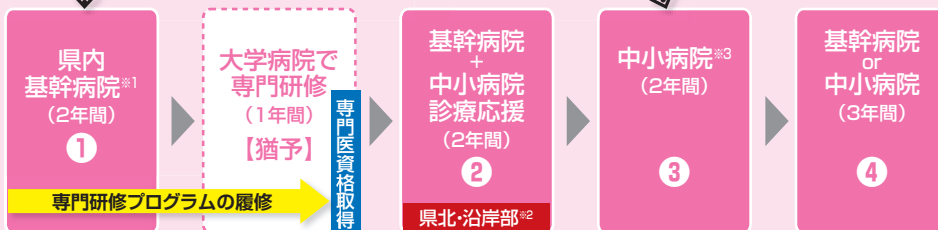
経験が浅いうちから
多くの症例を
経験することができ、
キャリア形成に有利となります。

専門スキルの維持・向上のため、週1日は基幹病院や大学での研修機会を確保

中小病院では、患者さんとの距離が近く、患者さんから頼りにされることが多いです。また、「病氣」ではなく「人」を診る力(総合的診療能力)を養うことができ、こうした経験が医師としての自信ややりがいにつながります。



■義務履行中に専門研修を行う場合



臨床研修を含め、12年で義務履行終了！

①+②+③+④=9年間勤務、猶予期間を1年取得

※1 義務履行対象施設で勤務しながらの大学院通学や義務履行対象施設での専門研修(①の勤務)は、義務履行期間に算入されます。
※2 県北・沿岸部の公的医療機関で2年間勤務する必要があります。
※3 専攻診療科によらず、基幹病院以外の公的医療機関(中小病院)で2年間勤務する必要があります。

〈義務履行例〉
岩手県
医師修学資金
(岩手医大地域枠A)

キャリアアップの段階に対応した岩手県の取組



サマーガイダンス、サマーセミナーの開催

奨学金制度や地域医療についての理解を深めるとともに、先輩医師や奨学生同士の交流を図っています。



▲奨学生サマーセミナー

研修医合同オリエンテーション、レジデントスキルアップセミナーの開催

臨床研修を進めるうえで必要な知識や基本的な手技等の習得、診療能力のレベルアップを支援しています。



▲研修医合同オリエンテーション

・専門研修プログラムの指導体制の充実
・「岩手県医師支援調整監」によるキャリア形成支援

県立病院長を歴任した経験豊富な「岩手県医師支援調整監」が、専門医の資格取得などキャリア形成に関する相談等に対応するとともに、医療機関や大学との調整を通じて、義務履行とキャリアアップの両立を支援しています。



▲臨床研修指導医講習会

・臨床研修指導医講習会
指導医ファカルティ・ティベロップメント

充実した研修プログラムを提供するため、臨床研修医の指導にあたる指導医の資質向上を図っています。

高校生のための医学部進学セミナーを開催しています！

医師・予備校職員による講演、医学生・研修医とのフリートーク等を内容とするセミナーを例年8月に開催しています。高校生の皆さんの参加をお待ちしています！(開催については高校を通じて案内)

岩手県の取組事例

Q&A

こんな場合は？

Q&A

Q1：岩手県出身者でなければ奨学金を借りられないのですか？

A1：岩手県出身者のみを対象とした奨学金は、岩手医科大学地域枠A【県医師修学資金】と東北大学地域枠【医療局医師奨学資金】の2種類で、それ以外の奨学金については、県外出身者も利用できます。

Q2：2年生から新たに奨学金を受けることができますか？

A2：市町村医師養成修学資金や医療局医師奨学資金（産婦人科特別枠・一般枠）では申込み可能です。

Q3：申請をすれば必ず貸与を受けることができますか？

A3：岩手医科大学地域枠A・B・Cについては、奨学金貸与候補生の決定を受けていることが、地域枠入試の受験資格要件となります。候補生として大学の試験に合格すれば、奨学金の貸与予定者となり、その後面接のうえ、貸与を決定します。（候補生として不採用となった場合は、貸与を受けることはできません。）

東北大学地域枠については、貸与候補生の決定はなく、大学の試験に合格すれば、奨学金の貸与予定者となり、面接のうえ、貸与を決定します。

その他の奨学金については、医学部に合格後申請を行い、貸与者との面接のうえ貸与の可否が決定されます。応募状況等によっては、貸与が受けられない場合もあります。

※詳しい手続きの流れについては、次ページをご覧ください。

Q4：連帯保証人の要件はありますか？

A4：連帯保証人は独立の生計を営む者が2名必要です。うち1名は本人の父、母、親権者又は後見人、もう1名は岩手県に住所のある者であることが原則となります。詳細は個別に御相談ください。

Q5：他の奨学金や貸付金との併用は可能ですか？

A5：返還免除条件の中に医師としての就業先や期間が定められていない奨学金や貸付金（日本学生支援機構など）であれば可能です。詳細は個別に御相談ください。

Q6：留年した場合の貸付けはどうなりますか？

A6：留年した場合、県医師修学資金と市町村医師養成修学資金では、原則その年度についての貸付けを受けることができません。ただし、留年の翌年度以降に進級された場合は貸付けを再開します。医療局医師奨学資金では医学部に在籍中は貸付けを行います。その分義務履行^{※1}期間も長くなります。

Q7：初期臨床研修先の病院は指定されるのですか？

A7：臨床研修については、原則として、岩手県内で行っていただきますが、臨床研修先となる病院は、医師臨床研修マッチング協議会が実施している研修医マッチング（組み合わせ決定）により決定します。

※奨学金養成医師の研修先の決定方法については、国の制度改革により変更となる場合があります。

※臨床研修を県外で行った場合は、その期間を義務履行の猶予期間（6年間）から減ずることになります。Q8参照

また、初期臨床研修先は医師臨床研修マッチング協議会が実施している研修医マッチング（組み合わせ決定）により決まります。（奨学金養成医師の研修先の決定方法については、国が制度見直しを検討しており、今後、変更となる場合があります。）

Q8：岩手医大や県外の施設又は大学院で研修を行うことができますか？

A8：大学卒業後は、原則として岩手県内の病院で勤務していただきますが、6年間に限度に義務履行を猶予し、ご自身のキャリア形成のために県外の病院での勤務や大学院で勉強することができます。

なお、猶予期間中においても貸付金額に年率8%の利息相当額が加算されます。

Q9：義務履行期間に専門研修を行うことができますか？

A9：義務履行対象施設である県内の公的基幹病院であれば可能です。ただし、義務履行対象施設以外（大学病院や県外の病院）での研修は義務履行の猶予手続きをした上で行うことができます。※Q8を参照

Q10：妊娠、出産等により勤務を中断しなければならない場合は、どうなりますか？

A10：義務履行中の産前産後休暇については、勤務期間とみなされ義務履行期間に算入しますが、育児休業については、義務履行期間としてみなしません。

Q11：卒業後は岩手県職員として勤務するのですか？

A11：義務履行先の医療機関の職員としての勤務となりますので、県立病院であれば県（医療局）職員ですが、市町村の医療機関であれば市町村職員となります。

Q12：勤務先は自分で決められますか？

A12：勤務先については、医師の希望とキャリア形成に配慮しながら、地域医療体制の確保を考慮しつつ、奨学金養成医師配置調整会議で決定し、任命権者が指定する勤務先で勤務します。なお、原則、中小病院に2年間、県北・沿岸の病院に2年間勤務する必要があります。（裏面参照）

※1 義務履行
貸付資金の返還等の免除を受けるため、公的病院等で従事すること。

貸付決定までの流れ

	● 岩手県医師修学資金 (岩手医科大学地域枠A) ● 医療局医師奨学資金 (岩手医科大学地域枠B)	● 医療局医師奨学資金 (岩手医科大学地域枠C)	● 医療局医師奨学資金 (東北大学地域枠入試)	● 医療局医師奨学資金 (産婦人科特別枠・一般枠) ● 市町村医師養成修学資金
9月	貸与候補生の申込・書類審査 貸与候補生決定通知			
10月				
11月	出願申込 地域枠特別推薦入試 合格発表・入学手続	貸与候補生の申込・書類審査 書類審査・貸与候補生決定		
12月		出願申込		
1月		地域枠特別入試1次・合格発表	大学入試共通テスト 出願申込	
2月		地域枠特別入試2次・合格発表	第一次選考結果発表・ 受験票発送 第二次選考実施・合格発表 入学手続	医学部合格
3月	貸付手続説明会(面談)			貸付申込 ※4月中旬まで申込受付
4月	貸付申請(正式)(入学式) 貸付決定			面接(盛岡市内) ※3月末と4月中旬の2回実施 貸付決定
5月	地域枠A: 初年度貸与金振込 (4月末) ※以降毎年振込 地域枠B: 4・5月分貸与金振込 (4月末) ※以降毎月振込	4・5月分貸与金振込(5月頃) ※以降毎月振込	4・5月分貸与金振込(5月頃) ※以降毎月振込	4・5月分貸与金振込(5月頃) ※以降毎月振込

※手続き等の時期は変更になる場合があります。

【凡例】

- 岩手県・医務局
- 岩手医科大学
- 東北大学
- 医務局・市町村

〈参考:岩手医科大学地域枠A・B・Cに係る入学時学納金(諸会費含む)〉

	地域枠特別推薦入試		地域枠特別入学試験C
	A	B	
金額	200万円	(一括)940万円 (分納)590万円	(一括)940万円 (分納)590万円
納入期限	11月下旬	11月下旬	2月上旬

岩手県

岩手県保健福祉部医療政策室
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1
TEL 019-629-5427 FAX 019-626-0837

